

発達段階に応じた子どもの読書活動の推進

中央図書館

飯田未来デザイン 2028 戦略計画より

基本目標 3	“結いの心” に根ざす教育を実践し、豊かな心とリニア時代を生きる力を育む
戦略 (考え方)	◆子どもが読書を楽しみ、感性や言葉を豊かにし、想像力、表現力や情報を活用する力をつけられるよう、乳幼児期から発達段階に応じて読書体験の充実に取り組む。
小戦略	⑤子どもの読書活動の推進 (1) はじめまして絵本プレゼントやセカンドブックプレゼントなどにより、乳幼児期の読みきかせを通じた親子のふれあい体験や、幼児が絵本や物語を楽しむ機会を増やします。 (2) 小学生が本に関心を持ち自発的な読書が行えるよう支援し、読書習慣の定着を図ります。また図書館等を使って情報を収集し、選択・活用する力を、小中学校を通して段階的に育みます。 (3) ムトスぷらざに中央図書館のサテライト機能を設置し、高校生の読書や探求学習を支援します。

第4次 飯田市立図書館サービス計画（令和3年度～令和6年度）の取組状況

取組Ⅱ 子どもの読書活動を推進します

子どもたちが、読書の楽しさを体験し、知ること学ぶことの喜びを知り、自分で考える力、課題を解決する力を培うことができるよう、関係機関と連携し、発達段階に応じて継続的に読書活動の推進を行います。

1 現状と課題

- ・市立図書館の利用の状況を見ると、図書館を利用する家庭と全く利用しない家庭がある。本に親しんでいる家庭（子ども）とそうではない家庭（子ども）の差が広がっていることが推測される。
- ・小学校でも絵本を読んでもらう読みきかせの機会はあるが、絵本から読み物への移行、自発的に読み応えのある本を読むことが難しい。また読む本を自分で選ぶことができない様子が見受けられる。
- ・小学校、中学校期に、調べる楽しさや方法を知る機会が十分に得られず、自分から情報を収集し、選択して活用する力の基礎が身につかないままとなっているのではないか。
- ・子どもを取り巻く情報環境が大きく変化し、多様な情報にふれることができる一方で、長編の物語を読むことができなかつたり、文章を読んで内容を的確に読み解くことがし難くなつたりしている。

2 今後の方向性

- ・子どもたちが本を読む楽しさを知り、読書習慣を形成していくために、子どもの成長に沿って、継続して読書体験を行えるようにする。子どもの最も身近な場所である家庭、保育所や学校図書館と連携を強化し、子どもの読書活動推進に取り組む。
- ・情報を活用する力を身につけていくには、学校図書館の充実が欠かせない。
- ・子どもの読書体験の充実のためには、保護者の理解を高める取組が必要である。
- ・分館では、それぞれの地区の状況に合わせて子どもの読書活動推進に取り組んでいく。

3 具体的な取組内容

■サービス計画 ・取組状況

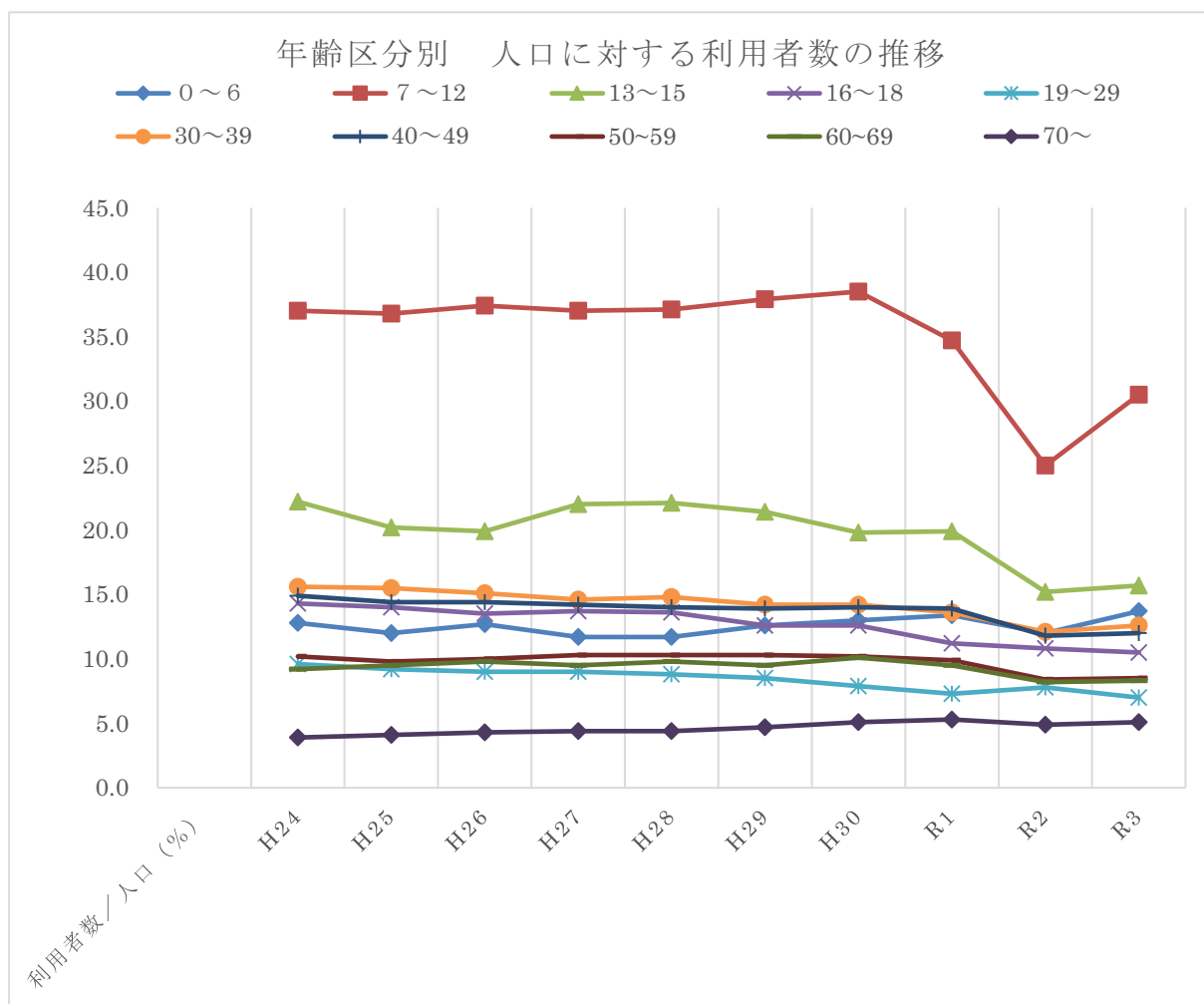
発達段階に応じた子どもの読書活動の推進

年代・目指す姿	主な取り組み
<p>乳幼児 (0～3歳)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自己肯定感、人への信頼感を育む ・言葉を育む ・絵本の楽しさを知る 	<ul style="list-style-type: none"> ■はじめまして絵本事業により7か月の乳児に絵本をプレゼントし、<u>親子で絵本を楽しみ、心を通わせる時間を持つ</u>ことを働きかけます。 <ul style="list-style-type: none"> ・R3年度 はじめまして絵本プレゼント受取率 99.6% ■2歳児相談の際に、親子で絵本を楽しむことを呼びかけます。 ■乳幼児学級やつどいの広場等で、親子で絵本やわらべうたを楽しむことを働きかけます。
<p>幼児 (3～6歳)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本の楽しさを体感し本が好きになる ・言葉が豊かに ・想像力が育まれる ・自己肯定感 	<ul style="list-style-type: none"> ■<u>絵本や物語の楽しさを知る機会を充実</u>させます。(重点) ■4歳児(年中児)へセカンドブックをプレゼントします。(重点) <ul style="list-style-type: none"> ・R3年度開始。おともだち絵本プレゼント受取率 100% ■<u>保育所等を通じて継続的に家庭への絵本の貸出を実施し、家庭での読書習慣の形成</u>を図ります。(重点) <ul style="list-style-type: none"> ・R3年度 団体貸出利用保育所等 34園 保育所等や分館貸出による家庭への持ち帰り実施園数 28園
<p>小学生 (6～12歳)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・文章を読む力がつく、言葉を聞いたり文章を読んでイメージできる ・語彙が豊富に、言葉が豊かに ・想像力、表現力が豊かに ・人の気持ちや多様な世界を知る ・言葉で表現する ・必要な知識・情報を探して使う 	<ul style="list-style-type: none"> ■<u>子どもの身近な図書館である学校図書館と連携して、学校での読書活動や調べ学習等の支援</u>を行います。 <ul style="list-style-type: none"> ・飯田市内の子どもたちがどこに住んでいても同じサービスを受けられるよう、学校図書館担当者と目指す姿やつきたい力、それに向けた取組について情報共有(別紙)し、協力を行っている。 ■<u>学校図書館と共同で学年別におすすめの図書リストを作成し、読む力の育成と読書習慣の形成</u>を図ります。 <ul style="list-style-type: none"> ・R2年度1・2年生向け/R3年度3・4年生向け「よむリス」作成 家庭へ配布。また市内各図書館、学校図書館で活用。学校図書館と分館共同で、読みたくなるための取組を行った地区もある。 ・R4年度5年生向け「よむリス」作成 ■<u>学習指導要領に応じた図書館を活用した教育活動の指導計画の共有</u>を進めます。 ■<u>読書記録にもなる「おはなしぼうけんたい」を活用し、継続的な図書館の利用につながる働きかけ</u>をします。
<p>中学生 (13～15歳)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・多様な世界を知る ・思考力、表現力、学びへの意欲を育む 	<ul style="list-style-type: none"> ■<u>学校図書館と連携して、読書活動や調べる力・情報を活用する力を育成</u>する取組を行います。 <ul style="list-style-type: none"> ・join us いいだ lib など本を通じた他校との生徒の体験交流企画実施 ・公民館と共催で、中学生と地区の大人と一緒に郷土資料を調べて発表する「鼎ナヅとき探偵団」実施

<p>高校生 (16～18歳)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・知識・技能の活用 ・思考力、判断力、表現力を高める 	<ul style="list-style-type: none"> ■各校で実施されている探求活動や「信州学」について、有効な支援や連携方法を探ります。 ■学校図書館と連携して、読書活動や調べ学習等の支援を行います。 ■来館した人の欲求に確実に応えることで、図書館の利便性を伝えます。 <ul style="list-style-type: none"> ・R4年度 ムトスぷらざ3階に駅前図書館開館。高校生が読みたくなる本の配置、高校生による本の紹介や読書を通じた学習・交流活動を支援。 ・探求学習への興味喚起、資料提供
<p>分館による地区の子ども読書活動の推進</p>	
	<ul style="list-style-type: none"> ■分館毎に、地域の実情にあわせた取組を実施します。 <ul style="list-style-type: none"> ・地区の状況に応じ、乳幼児学級での読みきかせ・貸出、保育所等での読みきかせ、園児の来館貸出、小学生の図書館見学、団体貸出などを実施 ・R2・3年度は集会行事の実施は減少したが、「おはなしぼうけんたい」や、学校でのおすすめ本を分館でも掲示するなど、継続して来館し読書するための取組が進んだ。学校図書館と共に「よむリス」の活用に取り組んだ分館もある。 ・令和4年度は、地区内の学校等との連絡会、連携取組を進める。 ■中央・上郷図書館・分館が連携して読書推進に取り組めます。
<p>関係する機関との連携強化</p>	
	<ul style="list-style-type: none"> ■保健課、子育て支援課、保育所等との連携をより深め、乳幼児への読書活動を進めます。 ■「わが家の結いタイム」の取組により家庭読書の意識啓発を行います。 ■学校図書館と連携し、定期的な連絡会や合同研修等を実施します。 ■学校図書館と協力して、小中学生の自発的な読書、調べる力の獲得に向けて取り組みます。(重点) <ul style="list-style-type: none"> ・学校図書館で作成している「学校図書館経営計画」を情報共有し、共同取組や図書貸出協力等の学校図書館支援を行う。 ■団体貸出やレファレンスを支援します。
<p>子どもの読書活動に関わる人への支援</p>	
	<ul style="list-style-type: none"> ■読みきかせボランティア等を対象にした読みきかせの研修会を行います <ul style="list-style-type: none"> ・ボランティアグループの勉強会講師、選書支援など実施 ■子どもの本や読書に関する講座を行います。 <ul style="list-style-type: none"> ・子どもの本に関する講演会 R4年度 清水眞砂子氏、山口タオ氏 ・絵本とわらべうたの会、子どもの本の会を毎月実施。

【資料】

① 中央・県・上郷図書館利用状況の推移 ※分館は年齢区別統計が取れないため含まれない



②学校での読みきかせ活動等に関する調査結果 (令和元年度調べ)

※令和2・3年度は新型コロナウイルス感染拡大の影響により減少が予想される

○ボランティアによる読みきかせ

小学校 19校 (各クラスへ月に1回以上の頻度で行われている学校 10校) 中学校 1校

○学校職員・学級担任による読みきかせ

ほぼ全校で読書習慣・旬間などに行われている

○学校司書による読みきかせ

ほぼ全校で行われている。低学年には15校で、週に1回図書館の授業で読みきかせが行われている。

○読みきかせの活動量について

ボランティアによる読みきかせの頻度が高くない学校の場合は、学校職員による読みきかせの頻度が高くなっている。

○朝読書・全校読書について

小学校ではほぼ毎日行っている学校が4校。週に2～3日程度が6校。週に1日程度が9校。中学校はほぼ毎日行っているが8校。中学校では読みきかせは少ないが自分で読む読書活動の時間が設けられている。

③第4次飯田市立図書館サービス計画 取組別指標および目標値

取組	指標	現状 (R1)	R3	目標値 (R6)	備考
2 子どもの 読書活動を 推進します	はじめまして絵本 【7ヶ月児】絵本プレゼント 受取割合(%)	97.7	99.6	100	絵本を受け取った人数／対象者数
	【4歳児】絵本プレゼント 受取割合 (%)	—	100	100	絵本を受け取った人数／対象者数
	絵本を家庭へ持ち帰っている 保育所数 (園)	19	28	26	保育所への団体貸出や分館貸出、保育所の蔵書を通じて定期的に家庭へ本を持ち帰っている保育所数
	日常的に読書を行っている 子どもの割合 ※ (%)	小学6年生 67.1 (県 69.0) (国 65.7) 中学3年生 55.6 (県 57.1) (国 50.4)	小学6年生 63.6 (県 64.9) (国 61.2) 中学3年生 60.2 (県 59.8) (国 5.0.1)	県平均 以上	全国学力・学習状況調査結果 R1 県平均 小学6年生 69.0 中学3年生 57.1

※全国学力・学習状況調査 設問「学校の授業以外に、普段（月～金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、読書
をしますか(教科書、漫画を除く)」に対し、回答10分以上～2時間以上の子どもの割合